

聖霊降臨節第3主日(赤)

主日礼拝

2025年6月22日 10時20分～

司式:

奏楽:

《神の招き》

前 奏 『天のみ国にいますわれらの父よ』 F.W. ツァハウ
招 詞 箴言8章35節
賛 美 歌 203

《神の言葉》

祈 禱 聖霊の照らしを求める祈り
聖 書 エゼキエル書18章25～32節 (旧約1304頁)
使徒言行録17章22～34節 (新約243頁)

こども説教
交 読 詩 編 詩編25編1～11節 (29頁)

賛 美 歌 573
説 教 「神を見いだすために」 八木浩史牧師

祈 禱
賛 美 歌 402

《感謝の応答》

信 仰 告 白 使徒信条
献 金
祈 禱 献金当番
主 の 祈 り (週報表紙、ホームページ掲載)

《派 遣》

頌 栄 28
祝 福
報 告
後 奏

礼拝当番: (役員:) 献金当番:
音響: 映像:

■■■ 調布教会は2026年度に創立80周年を迎えます! ■■■

「神を見いだすために」

『エゼキエル書』は、バビロンによって捕囚されたイスラエルの民は、この災いは先祖が神に背いたことによるものであり、自分たちの責任ではないと考えていました。故に彼らは神が公正ではないと言っていたのです。そこで神はエゼキエルを通して、彼ら自身が神に背いて罪を犯してきたから、裁きが与えられたのだと言われるのです。そして自分の罪を認めて、悔い改めるよう促されます。「あなたがたが私に対して行ったすべての背きを投げ捨て、自ら新しい心と霊を造り出せ」とのこと。そのようにして悔い改め、神に立ち帰るなら、神は赦してください、生きることができるのです。

『使徒言行録』では、パウロによるアテネ伝道の様子が書かれています。アテネには町中に偶像があるのを見て、パウロは憤りを覚えたのでした。偶像とは自分の思いを叶えるために崇拜対象とする物です。一人一人の欲望に合わせて、造り出されるので、数限りない偶像ができたのです。「知られざる神に」と刻まれている祭壇もあったのは、まだ祀っていない神があれば、呪われるかもしれないと恐れてのことです。自分たちの思いを叶えさせるための偶像は、逆に彼らを苦しめるものとなっていたのです。数多くの神を造り出すことで、真の神がわからなくなっていました。パウロは彼らに唯一の神を差し示します。神を見いだすために、神はキリストをお遣わしになりました。悔い改めて、十字架と復活のキリストを信じて礼拝するなら、唯一の神を見いだし、救いと幸いを得ることができるのです。